

教職支援室便り

2 月 号
平成 27 年 2 月 13 日 (金)

文責：教職支援室 山本 寛 幸
☎ 0985-20-4808

東京アカデミー全国公開模擬試験受験



まだ正月気分も抜けない 1 月 6 日 (火) 凌雲会館 1 階会議室 B において、勉強会に参加している 15 名 (4 年生 4 名、3 年生 11 名) が東京アカデミー第 1 回全国公開模擬試験に臨みました。試験科目は専門試験 (英語) と教職教養・一般教養の 2 科目です。

昨年度から 1 月と 4 月実施の公開模試にチャレンジしています。模試の結果で自身の実力を知り、7 月実施の採用選考試験までの間にやるべきことが明確になります。

《感想》

- ・教職教養については、選択肢の問題で迷ったりするものが多く、ただ暗記するだけではなく、しっかり意味や内容を理解しないとだめだと思った。試験結果が返ってきたら、出来なかったところを集中して補強していきたい。(4 年生)
- ・現在のレベルを確認し、勉強に気合を入れる良い機会となった。後援会から受験料の補助があり、今回、無料で受験できてよかった。(4 年生)
- ・初めて模試を受けたが、やはり確実な知識が求められるなと感じた。今後も引き続き、採用試験合格を目指して頑張ろうと思わせる模試となった。(3 年生)
- ・勉強不足を痛感した。気持ちを切り替えて、今までにない勉強時間と集中力をもって、今後、勉強に励んでいきたい。(3 年生)
- ・自分の今の実力を知るために受験した。専門試験は思っていたより簡単だったが、教職教養・一般教養は難しかった。今回の模試を参考にして本番に向けて頑張ろうと思った。(3 年生)
- ・初めて自分の今の位置が分かるテストなので、実際の採用試験のような緊張感を持ちながら受けることができた。大変役に立つものであった。(3 年生)
- ・すごく難しかった。しかし、自分の苦手な分野が分かったので良かった。(3 年生)

この夏の第一次選考試験に向けて

「道徳に係る教育課程の改善等について(答申)」をしっかり勉強しましょう!

中央教育審議会は、平成 26 年 10 月 21 日に「道徳に係る教育課程の改善等について」(教職支援室便り 12 月号に掲載) を答申しました。このような最新の中央教育審議会答申は、各自治体の第 1 次選考試験の教職教養の問題として **必ず出題されます**。答申の「はじめに」の一部を紹介します。

答申にもあるとおり、道徳教育を通じて育成される道徳性は、「豊かな心」はもちろん、「確かな学力」や「健やかな体」の基盤ともなり、児童生徒一人一人の「生きる力」を根本で支えるものである。また、道徳教育は、個人のよりよい人生の実現はもとより、国家・社会の持続的発展にとっても極めて重要な意義をもっている。

我が国には、人々が道徳を重んじてきた伝統があり、また、現在も、諸外国から、日本人の道徳性

の高さが評価され、敬意を表される機会も多い。我々は、こうした伝統や評価に自信と誇りをもちながらも、一方で道徳教育をめぐる現状の課題を真摯に受け止め、今後の時代を生きる子供たちのため、その改善に早急に取り組む必要がある。

学校現場体験発表 教師論

1月9日（金）の教師論の授業で、実際に学校現場での体験活動に参加した6名の方に体験談を語ってもらいました。学校現場での体験活動の重要性については、平成24年8月、中央教育審議会答申において、「学校ボランティア活動など、教育実習以外にも一定期間学校現場等での体験機会の充実を図る。また、教員を強く志望する者に対し、学校への※長期インターンシップなどの実施も考えられる」と規定しています。

また、最近の教員採用選考試験では、人物重視と共に、教育に対する情熱・使命感を備えた人材を求めています。学校現場の体験が「教育実習」だけでは、教育に情熱と使命感をもった人材として、自治体には判断されないだろうと考えます。ですから、教員を志望している学生には、学校現場を多く体験させたいと考え、現在、多くの学校現場での体験活動の場を私の方で開拓し、提供しています。その一端を6名の方に発表してもらいました。

※長期インターンシップ:本学では、平成21年度から宮崎西中学校において教員志望の学生に実施している。

1 ボランティア活動体験発表

(1) 大宮中学校別室登校生徒への支援活動について：松本和樹さん（3年生）

この活動は平成21年度から実施しています。不登校生徒で教室に入れないが、別室なら登校できる生徒がいます。このような別室登校している中学生に勉強を教えたり、話し相手になったりするなどの支援を行っています。現在、5月連休明けから週1コマ、松本さんも含めて3年生7名がこの活動に参加しています。

(2) 宮崎東中学校における英語学習アシスタント活動について：大畑聖文さん（3年生）

この活動は本年度から始めました。大学3年生から、中学校で長期の英語学習アシスタントを行いながら、学校現場教師の英語学習指導法や中学生の実態等について学ばせたいと思い、校長先生にお願いしたところ快く引き受けてくださいました。現在、5月連休明けから週1コマ、大畑さんを含め3年生6名がこの活動に参加しています。

(3) 宮崎西中学校における英語学習アシスタント活動について：倉山武文さん（4年生）

この活動は平成21年度から実施しています。週に1日、宮崎西中学校の英語の先生と組んで授業に参加するものです。例えば、倉山さんは西田先生、伊藤さんは高平先生と決まった先生の授業におよそ4カ月間参加します。現在、倉山さんも含めて4年生4名がこの活動に参加しています。

(4) 宮崎東中学校における学校支援ボランティア活動について：山本育実さん（4年生）

この活動は昨年度から実施しています。活動内容は、上記、「宮崎西中学校における英語学習アシスタント活動」と同じですが、宮崎東中学校においては、英語学習アシスタント活動以外に、朝の会、帰りの会、給食指導等も体験させていただいています。現在、山本さんも含めて4年生4名がこの活動に参加しています。

2 教育実習体験発表

(1) 中学校：江藤千鶴さん（4年生）

(2) 高等学校：多田浩樹さん（4年生）

《リアクションペーパーから》

・先輩方の話を聞き、改めて教師への憧れの気持ちが強くなった。同時に、今、自分がやるべきことが見つかったので、即、実行していきたいと思った。

・学校体験の話を聞いて、生徒のことを一番に先生達は考えているんだなと思った。生徒達は、大学生であっても「先生」として見ているので、生徒の手本になるようにしないといけないと思った。教育実習に向けて、学校現場体験に積極的に参加したいと思った。

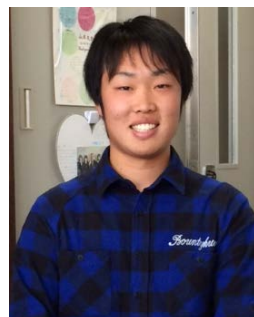
- ・先輩方の体験談は、とてもためになった。特に教育実習を経験した先輩の言葉には、やはり説得力があり、教職に対しての強い気持ちを感じた。
- ・先輩方、皆、話すのが上手でアドバイスがとてもためになった。教育学部の学生のように附属中学校で学べないので、自分から動こうと思った。
- ・実際に生徒と触れ合った先輩方の話は、本当に目からウロコなものばかりだった。授業だけでなく、登校してくる生徒への挨拶、部活動の指導などもやってみることで生徒の違う面も見られるので、是非、積極的に参加しようと思う。

合格者からのメッセージ

今年度、教員採用選考試験に現役で合格した4名の方からメッセージをいただきましたので紹介します。伊藤加寿真さんと多田浩樹さんの分は、3月号で紹介します。

【鹿児島県中学校英語：倉山武文さん】

私は、今回、鹿児島県と千葉県の中学校英語に合格することができました。英語の勉強に関しては、私は日々英語力の向上に努めてはいましたが、一昨年の9月から始まった山本先生の勉強会に参加させて頂いた頃に、採用選考試験に向けた英語の勉強に切り替えました。まずは、過去問を数年分解いて、受験希望自治体の傾向をつかむとともに、自分に足りない部分の補充と受験希望自治体の試験内容に合った勉強を繰り返しました。リスニングや実技がある自治体等、自治体によって英語の試験内容が異なるので、できるだけ早く試験内容、傾向を確認することが大切です。



教職教養に関しては、山本先生の勉強会で扱う問題を繰り返して解き、徹底的に暗記しました。勉強会では、基本的な法律問題から時事的な内容まで幅広く扱っていただけます。勉強会の予習、復習を怠らずに毎回参加すれば大丈夫です。

また、筆記試験のみならず、第一次試験では、集団面接、集団討論がある自治体があります。私は、第一次試験で集団面接があったのですが、山本先生が対策の場を設けてくださったので、不安なく受験することができました。

更に、第一次試験直後から第二次試験に向けた面接等の対策を行っていただけます。それに加え、一緒に頑張る仲間と時間を見つけて対策を行いました。

今回、合格できたのは、先生や仲間の支えがあったからでした。皆さんにも多くの支えてくれる方々がいます。仲間と互いに励ましあい、選考試験に向けて悔いのないよう頑張ってください。

【福岡県中学校英語：江藤千鶴さん】

合格通知をもらった時に一番感じたことは、今まで熱心に指導して下さった山本先生と自分を支えてくれた人への感謝でした。

3月まで海外にいたので、勉強会への参加は皆より遅れをとっていました。4月からは山本先生からいただいたプリントと自分のテキストで勉強しました。また、英語力を高めるために外国人の友人と時々話していました。そのような日々の積み重ねが、試験の時は大きな自信へと変わったのだと思います。

周りの友達が就職先を決める中で、地道に机に向かうのは、少し辛い時もあると思いますが、一緒に夢を追いかける仲間と励ましあって、合格をつかみ取ってください。応援しています！！



後5ヶ月で採用選考試験『高知県教員募集案内』届く

1月末に高知県教育委員会から「平成28年度高知県公立学校教員募集案内」が届きました。募集案内には、選考スケジュールや試験の内容、過去3年間の倍率等が掲載されています。採用選考試験まで後5ヶ月です。昨年度、東京都の採用選考試験受験申し込みの開始日は、3月31日でした。いよいよ本格的な受験シーズンの到来です。受験者の皆さん、合格を目指して精一杯の努力をしましょう。

